

夏休み企画展「城下町和歌山を歩こう」(7/14~8/26)

和歌山県立博物館に行こう

(和歌山県立博物館は、和歌山城の南側にあります。)

学校名() ()年()組 名前()

()のなかに、言葉やマークを入れて完成させてね。



Q1. 180年ほど前の城下町和歌山が描かれています。真ん中にある和歌山城を中心に、武士の家、町人の家、寺院や神社などが建ち並んでいます。城の周辺にまとまってある白色は、(**武士**)が住む場所です。街道の近くや川の近くにあるもみじ色には、(**町人**)が住んでいます。城下町の南端にある灰色の場所には、(**寺院**)がたくさん建っています。

(展示番号1 紀州和歌山大絵図を見てね)

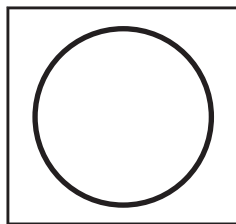
Q2. 和歌山城下町で活躍した商人がたくさん描かれています。日用品や季節ごとの品物を、肩にかついだ棒にさげて売り歩く商人で、「ふりうり」と呼ばれていました。下に描かれた人は、どんな商売をしている人でしょうか。(展示番号7 天保年代物売図を見てね)



(油売り) (リサイクル屋) (魚売り) (ところてん売り) (めがね直し)

Q3. 南海和歌山市駅に近い本願寺鷺森別院周辺の発掘調査で、土の中からたくさんの泥面子が出てきました。泥面子には色々なマークが刻まれています。お気に入りのマークを丸のなかに書いてみましょう。

(展示番号13 鷺ノ森遺跡出土遺物を見てね)



Q4. 毎年5月、和歌浦にある東照宮では和歌祭が行われます。



わかまつり絵巻には、江戸時代の和歌祭が描かれています。そのなかで、鹿の角を被り、長いささらを持って踊る人がいます。この踊りは(**雑賀踊**)と呼ばれ、城下町に住む湊地区と(**広瀬**)地区の町人が担当しました。

(展示番号27 わかまつり絵巻を見てね)

和歌山県立博物館の
記念スタンプを押してね

夏季特別展「和歌山城 再発見！」(7/14~8/26)

和歌山市立博物館に行こう

(和歌山市立博物館は、和歌山市民図書館のとなりにあります。)

Q1. 1585年から和歌山城を築く工事が始まりました。現在の和歌山城のかたちになったのは江戸時代に入ってからのもので、約30年かけて和歌山城が築かれたのです。和歌山城の築城には多くの人に関わりました。その人たちの名前を調べてみましょう。



(**豊臣秀吉**)

1585年から86年にかけて紀州を平定し、のちに全国を統一しました。



(**桑山重晴**)

1595年から1601年まで、和歌山城の城主でした。

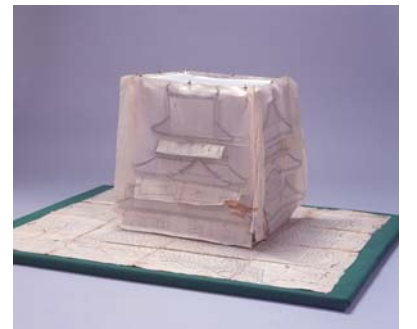


(**徳川頼宣**)

御三家・紀州藩55万5千石の初代の藩主です。

Q2. 江戸時代の和歌山城を描いた絵や図面はたくさん残っていますが、立体的な模型になる図面はめずらしいです。これは和歌山城のどこを描いたものでしょうか？

(**天守閣**)



Q3. 紀州藩11代藩主・徳川斉順が江戸での勤めを終えて、和歌山に帰ってきたときの大行列のようすを描いた絵画です。和歌山市内のある場所ですが、これはどこでしょうか？



(**本町通りor京橋**)

和歌山市立博物館の
記念スタンプを押してね

夏のコーナー展示「和歌山城天守閣 焼失」(7/14~8/26)

和歌山城天守閣に行こう

(和歌山城天守閣は、和歌山城内の山の上にあります。)

学校名() ()年()組 名前()

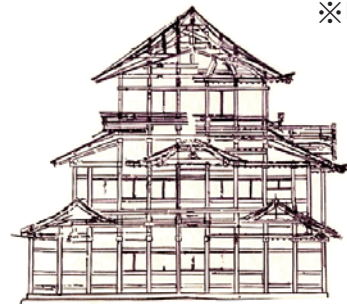


和歌山城天守閣は、一度目は、弘化3年(1846)に雷が落ちて燃えてしまいました。二度目は、昭和20年(1945)の和歌山大空襲で燃えてしまいました。現在の天守閣は、60年前に、市民の強い願いもあり、鉄筋コンクリートでほぼ同じ姿に再建されました。

正解の番号に○をしよう!

Q1. 雷で燃えてしまい、その後、再建するときには作られた設計図です。天守閣のどこの建物かわかるかな?

※ヒント 3階建て



- ① 大天守
 - ② 小天守
 - ③ 乾櫓
- (多門ケース10を見てね)

Q2. 空襲で燃える前に撮影された、天守閣(大天守)の中です。どこの階かな?

※ヒント 階段がーか所しかないね



- ① 1階
 - ② 2階
 - ③ 3階(展望)
- (多門ケース11を見てね)

Q3. 空襲で焼けてしまったものです。元は何の一部かわかるかな?

※ヒント 変わった模様が見えるよ



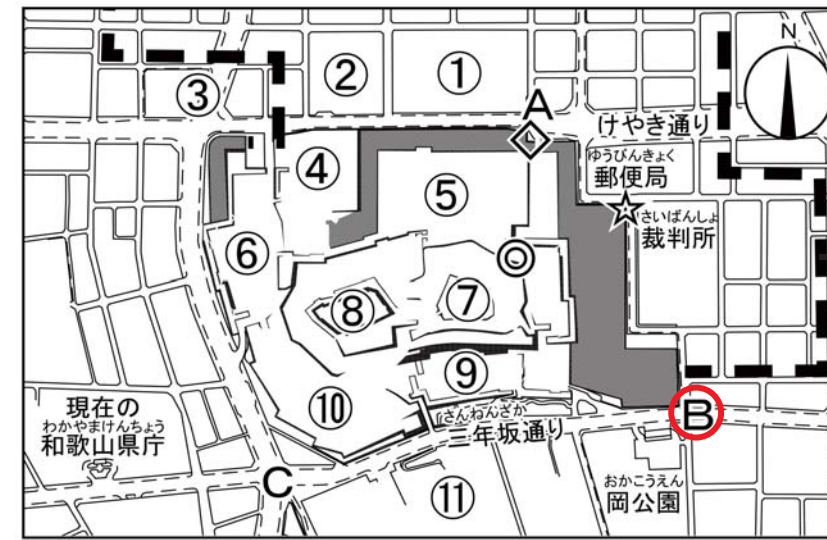
- ① 石垣
 - ② 屋根に使われていた瓦
 - ③ 天守閣の壁
- (多門ケース11を見てね)

和歌山城天守閣の記念スタンプを押してね

夏の企画展示「和歌山城の近代—明治維新以降のお城と城下町—」(7/14~8/26)

わかやま歴史館に行こう

(わかやま歴史館は、和歌山市役所の南側にあります。)



和歌山城周辺の地図

(---線は、戦前までに埋められたお堀)



『和歌山城之春景』

Q1. 明治時代、和歌山城の所有者は軍隊(日本陸軍)で、今でも「陸軍省」と記された石碑が残っています。地図の3つのマーク(◇・◎・☆)のどこにあるでしょうか?

- Q2. 展示前半(ケース1)を見て、当てはまる場所を地図の①~⑤から選んでみましょう!
- (⑤) 江戸時代、お殿様が住んでいた場所。政治や儀式が行われて和歌山を治める中心だった。
 - (④) 明治時代の初めにお殿様が住んでいた場所。江戸時代はお殿様が趣味を楽しんでいた。
 - (⑥) 明治時代の初めに政治が行われた新しい場所。それまでは乗馬や薬園に使われていた。
 - (③) 明治時代、県庁が建てられた場所。現在地に移動するまで約60年間ここにあった。

Q3. 展示後半(ケース2)にある『和歌山城之春景』は、外側から和歌山城を見て描いたものです。どこから見た和歌山城なのか、地図のA~Cから選んで○をしましょう!

- <ヒント> A: 和歌山城の正門である大手門の前には、大きな橋があるよ!
 B: 江戸時代から残った門、岡口門のうしろには高い石垣が見えるよ!
 C: 高い石垣が横につながっていて、その上に天守閣が見えるよ!

和歌山城天守閣再建60周年記念スタンプを押してね